

3 授業づくりの実際

単元で構想したら、いよいよ1単位時間の授業案の作成・授業の実施です！

(1) 授業案の作成・授業実施上の留意点

小学校の外国語活動においては

英語嫌いをつukらない！ ことが大切です。

そのためには、

学級経営

- ・間違っても大丈夫！
- ・友だちがしっかり聞いてくれる！
- ・みんなが活動に参加できる！
- ・助け合い、励まし合える仲間がいる



安心して活動に参加できる学級づくり・仲間づくり

授業の構成

- ・基本的な授業の流れの作成
- ・テンポのよい授業
- ・変化のある活動（歌・チャンツ・ゲーム・クイズ・読み聞かせ・スキット）
- ・活動形態の工夫（全体・グループ・ペア・個人）

安定性と変化のある授業づくり

活動の工夫

- ・身体を使った活動（聞く活動を重視、知力を要する活動は避ける）
- ・児童の興味・関心に即した活動
- ・真実味のある場面設定
- ・難易度への配慮（易しすぎず、難しすぎず）
- ・情意面への配慮（強制的に一人で発表させるなど、過度のプレッシャーは避ける）

わくわくする活動づくり

(2) 授業の基本的な流れ

<p>1 あいさつ (明るく、元気よく、先生も笑顔で積極的に) ↓</p> <p>2 英語の歌・復習を兼ねたゲーム (身体で反応、安心できる雰囲気の中で) ↓</p> <p>3 活動1 (聞く活動、復習活動、繰り返し活動) ↓</p> <p>4 今日めあて (活動のゴールを明確にして動機づけ、活動に必要な表現・句・語を十分に聞かせてから発話の練習) ↓</p>	<p>↓</p> <p>5 活動2 (今日めあてにあった体験的な活動) ↓</p> <p>6 ふりかえり、評価 (授業への姿勢・態度を評価、今日の頑張り屋さん) ↓</p> <p>7 あいさつ</p> <p>※児童の実態や指導内容に照らして、2から6を学級担任が指導しやすい構成にアレンジ</p>
---	---

(3) 『英語ノート』を活用した具体的な活動構想例

活動用語の説明

Let's Play

ゲーム等を通して楽しみながら、扱う表現に慣れ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるのがねらいです。

Let's Sing

音楽が流れ、扱う表現が含まれた曲に合わせてみんなで歌うところです。

Activity

これまでの活動を通して慣れ親しんできた表現を、実際に使い、単元のねらいにせまる活動です。

Lesson 3
How many?
数で遊ぼう

Let's Play
いろいろな言葉で「じゃんけん」をしてみよう。

Lesson 4
Let's Play 外来語と英語との音のちがいに注意して、ペアでやってみよう
New Word Game

Let's Chant
①リズムに合わせて言ってみよう。
②慣れてきたら言葉をかえて言ってみよう。
Do you like apples?

Activity 1 自分のオリジナル・フルーツパフェを紹介しよう。

Let's Chant

チャンツのリズムに合わせて、繰り返し扱う表現を言うことで、英語のリズムやイントネーションに慣れる活動です。

Let's Enjoy 1

Let's Sing ①動作をつけて歌ってみよう。
Head, Shoulders, Knees and Toes.

②慣れてきたら歌詞を入れかえて歌ってみよう。

Lesson 2
I'm happy.
ジェスチャーをしよう

Let's Listen
CDを聞いて、ふさわしい表情の□に番号を書こう。

Let's Play ①先生の言葉に合わせて、いろいろな表情をしよう。
②先生の表情を見て、どんな気持ちかあてよう。

Let's Listen

できるだけたくさん英語を聞いて、新しい表現、扱う表現に慣れさせましょう。

第1時



- 1 挨拶
- 2 **Let's Play** (P16)
英語ノートにある英語、韓国語、中国語のじゃんけんを聞きながら、いろいろな国のじゃんけんを言ってみる。
- 3 **Let's Listen** (P17)
6カ国の1から10までの数の数え方を聞いて、どこの国の数え方が考えてみる。
- 4 **Let's Sing** (P17)
1から10を英語で数える。音楽に合わせて動作をつけて言ってみる。デジタル版では、動作の映像があり、それを見ながらみんなで一緒に動作することができる。
- 5 ふりかえり
児童のがんばったことなど、態度面、情意面をしっかりほめる。
- 6 挨拶

第2時



- 1 挨拶
- 2 **Let's Play** (P16) 前時の復習
- 3 **Let's Play1** (P18)
上の図形の中に、下の表の図形がいくつあるか、数えながら、日本、中国、韓国の数の表し方とアメリカでは、違っているところも気づかせる。
- 4 **Let's Sing** (P18)
11から20の言い方を曲に合わせて、動作をつけながら、歌ってみる。
<事前にP17を復習するのよよい>
- 5 **Let's Listen** (P18)
聞こえた数字を線でつないで、絵を完成させる。
- 6 ふりかえり
- 7 挨拶

P16



P17



P18

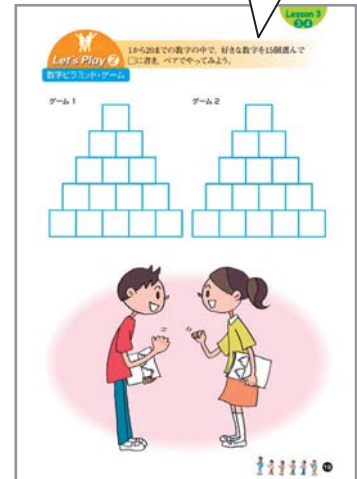


第3時

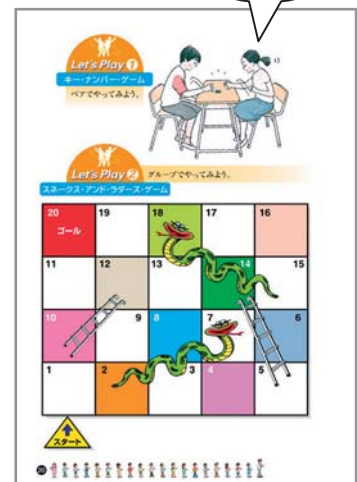


- 1 挨拶
- 2 **Let's Sing** (P17) 前時の復習
- 3 **Let's Play2** (P19)
 - ① ピラミッドに1から20までの好きな数字15個を無作為に書く。
 - ② “Hi.”と言いながら、英語でじゃんけんし、勝った者が自分のピラミッドから好きな数字を言い、○で囲む。
 - ③ 負けた者もその数字があれば、○で囲む。
 - ④ “Thank you. See you.”と言いながら別のパートナーを見つけて会話する。
 - ⑤ すべての数字に○がついた人が勝ち。
- 4 **Let's Play1** (P20) *キーワードゲームと同じ
 - ① ペアになり、机をはさんで向き合い、机の中央に消しゴムを置く。
 - ② 1から20までの数字でキーナンバーを決める。
 - ③ 教師が数字を言い、児童が繰り返し言い、手を2回たたく。
 - ④ これを繰り返し、キーナンバーが言われたら、児童は素早く消しゴムを取る。
- 5 ふりかえり
- 6 挨拶

P19



P20



第4時

- 1 挨拶
- 2 **Let's Sing** (P18) 前時の復習
- 3 **Let's Play1** (P20) 前時の復習
- 4 **Let's Play2** (P20)
 - ① グループでP20のゲームシートを囲み座る。
 - ② 1人ずつコマ（消しゴム等）を持ち、順番を決める。
 - ③ 1番目と2番目の児童が英語でじゃんけんをし、グーで勝てば1コマ、チョキで勝てば2コマ、パーで勝てば3コマ進み、そのマスの数字を英語で言う。（負けたら1回休み、言えなければもとに戻る）
 - ④ 2番目の児童は3番目の児童とじゃんけんし、これを繰り返す。
 - ⑤ 1番はじめにゴールした人の勝ち。
- 5 **Activity** (P21)
 - ① 四角の中に好きな漢字とその画数を書く。
 - ② 友だちにインタビューして好きな漢字の画数を聞き、自分と同じ画数の友達を探して、その漢字を右枠に書く。
- 6 ふりかえり
- 7 挨拶

P21



(4) 『英語ノート』を活用した授業案例

第5学年 外国語活動授業案

単元名 数で遊ぼう 『英語ノート』 Lesson3 [第1時]

本時の目標

世界には様々なジェスチャーがあることを知るとともに、1から10までの数字を言う。

本時の評価規準

- ①様々な数え方のジェスチャーがあることに興味を持って指導者の話を聞こうとしている。
- ②1から10までの数字をしっかりと言いながら、進んで歌っている。

活動を「話が聞きたくなる」「進んで歌いたくなる」よう仕組むことが大切です。

過程(分)	児童の活動	担任の活動	◎評価規準〈方法〉 ◆国際理解の視点	教材
挨拶(5)	1. 挨拶をする。 ①担任と ②友達と Hello, I'm fine.	①全体に挨拶をする。 ②友達との挨拶を、全員またはグループ内で一巡させる。		
展開(20)	2.じゃんけんをする。 ①英語で Rock,scissors,paper. One,two,three.	①全員立って、担任と英語でじゃんけんをし、負けたら座り、最後まで残った児童が勝ちとなることを説明する。 グループや班対抗にするなどの工夫をし、全員が参加したくなるような雰囲気を作りましょう。	◆英語でのじゃんけんの仕方を知らせることで、日本以外でも同じようなゲームがあることを理解させる。	『英語ノート』P16(英語)
	②いろいろな国の言葉で カイ バイ ボ ジェンタオ シートウ プー	②じゃんけんのかげ声を聞かせ、どこの国の言葉か予想させる。 (韓国語・中国語)		『英語ノート』P16(韓国語・中国語)
	③じゃんけんゲーム	③韓国語・中国語・英語でのじゃんけんゲームの仕方を説明し、勝った回数を覚えておくよう指示する。どの言葉でじゃんけんするか、指示を出す。 何度も聞かせることにより、イントネーションや発音の違いに気づいたり、自信を持って、じゃんけんする(声をだす)ことができます。	◆じゃんけんの仕方にも国によって違いがあることに気づかせる。	
	④勝った回数の時に手を挙げ、あとについて言う。 ・・・Eight! Ten!	④勝った回数を尋ね、自分も日本以外の国での数の数え方のジェスチャーで数を数える。	◆大きな動作で数えることで、児童に数の数え方が違うことに気づかせる。	
展開(7)	3. いろいろな国の数え方を知る。 ①いろいろな国の数え方を聞く。 ②聞き取りクイズ ③答え合わせをする。	①CDを聞かせ、1から10までの言い方について、何語か予想させる。改めて、英語のみ、1から10の言い方を紹介する。 ②再度CDを聞かせ、『英語ノート』(P17)に番号を書かせる。 ③答え合わせをする。	◎数を数えるときに様々なジェスチャーがあることに興味を持って指導者の話を聞こうとしている。 (行動観察)	CD 『英語ノート』P17
展開(10)	4. Ten Steps を歌う。 ①歌う。	①黒板に、Ten Steps の歌詞となる数字を書きながら発音する。繰り返しの部分で、児童も共に言うよう促す。		『英語ノート』P17 CD
	②ジェスチャーをつけて ③指定された数字のところでは発音する代わりに手を叩きながら歌う。 例) 1.*.3.4.5.6.7 1.*.3.4.5.6.7 8.*.10 8.*.10 1.*.3.4.5.6.7.	②③『英語ノート』P17のジェスチャーをしたり、指定した数字の部分は手を叩いて歌うなど、工夫を図る。 *印の部分を増やしたり、ジェスチャーを変えるなどすれば、簡単な歌も高学年向けの活動に変わります。	◎1から10までの数字をしっかりと言いながら、進んで歌っている。 (行動観察)	
挨拶(3)	5. 振り返りをする。	次時の意欲につながるよう、具体的に児童の良かった点を評価する。		
	6. 挨拶をする。	挨拶をする。		

*担任が使用する英語表現(例)については『英語ノート1指導資料』『小学校外国語活動研修ガイドブック』P86~を参考にしてください。
*T T用指導案は、『英語ノート1指導資料』P42~を参考にしてください。